

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立こども病院では、2025年11月25日付けで倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	頸動脈の早期分枝を伴う早産・超低出生体重児の大動脈縮窄複合症例
研究機関名	静岡県立こども病院
研究責任者	新居正基
研究期間	本研究承認日～2026年3月31日
対象者	2014年7月より2025年10月までの11年間に当院でカテーテル治療をされた大動脈縮窄を含む早産、超低出生体重児、極低出生体重児の患者を対象にしています。
当該研究の意義・目的	早産、超低出生体重児、極低出生体重児の大動脈縮窄に対するステント留置は、心停止が不可能な症例に対しての治療として安全に行える手技になっていますが、技術面や管理方法を含めて、容易ではないことが現状です。早産、超低出生体重児の大動脈縮窄複合の治療症例を学会で提示します。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。 <ul style="list-style-type: none">・背景因子（年齢、性別、体重など）、・臨床データ（ステントの種類、穿刺血管など）・転帰（再狭窄の有無など）
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問い合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立こども病院 循環器科 川田愛子、新居正基(研究責任者) 代表 054-247-6251